

全体目標

がんによる死亡者の減少
(75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少)

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の
軽減並びに療養生活の質の維持向上

がんになってもしっかりと暮らせる社会の構築

部会が
担当する
分野の目
課題と目
標

【目標】がん患者さんやその家族ががん相談を希望すれば、いつでもどこでも質の高いがん情報の提供や相談が受けられ、よりよい治療法及び療養場所を選択することができる。

中期目標：2015年3月までに県民の50%が相談窓口を知っていて、その8割ががんの悩みを解決でき、相談窓口での対応に満足している。

指標：①相談窓口認知度、②患者満足度

測定方法：患者満足度調査、拠点・支援病院がん相談件数の合算、分析

最終目標：2018年3月までに県民の80%が相談窓口を知っていてその8割ががんの悩みを解決でき、質の揃ったがん相談員が拠点病院、支援病院に配置されている。

指標：①相談窓口認知度、②患者満足度

測定方法：患者満足度調査、拠点・支援病院がん相談件数の合算、分析

施策
毎の
アウト
カム
目標

【アウトカム1】

2015年3月までに県民全体の50%が相談できる場を知っていて、希望した時にいつでも利用できる。
(必要な情報や相談場所にアクセスできる)

【アウトカム2】

その地域に不足している資源や課題が明らかになり、相談員間で質の揃った対応が可能となる。
(相談支援に関してフィードバックを得る体制が整備され、がん相談の質向上に還元できる)

【アウトカム3】

インフォームド・コンセントが行われる体制と、患者自らが治療内容や治療法を確認し選択できる環境が整備される。

施策
毎の
アウト
プット
目標

【アウトプット1】

地域の療養情報を集約し医療機関およびがん患者間で共有できる。

【アウトプット2】

がん患者と家族に県内の相談支援センターが周知される。

【アウトプット3】

ピアサポーターやがん患者団体等との連携協力体制が構築される。

【アウトプット4】

産業保健関連職種との連携のもと、就労支援が提供できる。

【アウトプット5】

患者家族満足度調査を実施することができ、相談支援センターの課題が抽出できる。

【アウトプット6】

県内の相談支援センターから提供されるサービスの質が担保される。

【アウトプット7】

がん相談支援に携わる者に対する教育研修の場を提供し支援サービスが向上する。

【アウトプット8】

活動に関するフィードバックや他県の取り組み等の情報を収集し県内で共有できる。

【アウトプット9】

地域の医療機関および医療従事者に関する情報が共有できる。

施策
アクション
プラン

【施策1】

「地域の療養情報」2016年版」配布後の評価を行い、2017年版を作成・発行する。

【施策2】

2017年3月までにチラシ配布やラジオ番組の参加を行う。

【施策3】

患者サロンの情報交換会を開催する。

【施策4】

就労支援に関する事例に関する、社会保険労務士等との研修会を1回以上開催する。

【施策5】

相談センター認知度調査をもとに、満足度調査表を作成する。

【施策6】

相談支援センターチャットを作成し、拠点支援病院で実施する。

【施策7】

九州・沖縄ブロック地域相談支援フォーラム in 沖縄を、2016年3月までに開催する。

【施策8】

部会委員が相談支援部会の活動実績を学会等で報告する。

【施策9】

県内のがん診療を行っている病院のセカンドオピニオンリストを作成し公開する。

導き出された
対策項目

【対策項目1】

相談窓口の機能、役割についての情報を患者、市民に知らせる。

【対策項目2】

相談支援の充実と質の向上

【対策項目3】

運営資源の充実化

がんサポ作業部会メンバー

- ・西田悠希子さん(ハートライフ病院)
- ・岸本聡子さん(患者の立場の方)
- ・橋本佳奈さん(ピアサポーター)
- ・富里淳子さん(在宅介護サービスひまわり 指定居宅介護支援事業所)
- ・親川淳さん(沖縄病院)
- ・大城ちひろさん(南部医療センターこども医療センター)
- ・樋口美智子さん(拠点病院)
- ・島袋幸代さん(拠点病院)
- ・大久保礼子、増田昌人、井上垂紀(琉大病院)

第一階層 第二階層 第三階層

ノンブル		写真/イラスト	2017年版 タイトル	掲載量	主担当者	2016年版	2017年版	検討課題・変更点	
表紙1	表紙	写真	(表紙) タイトル、サブタイトル、キャッチコピー	1	編集	表紙1	表紙1		
表紙2		写真	備瀬のフクギ並木	1	編集	表紙2	表紙2		
1	前付け	写真	(本扉) タイトル、サブタイトル、キャッチコピー	1	編集	1			
2		写真	はじめに	1	琉大	2			
3			はじめに	1	琉大	3			
4		写真	もくじ	4	琉大	4			
5			もくじ		琉大	5			
6			もくじ		琉大	6			
7			もくじ		琉大	7			
8				がんや療養生活について詳しく知るには	1	大久保	8		
9				がんの冊子、がん情報サービス	1	大久保	9		
10				がんと告げられてから、やるべき4つのこと	1	増田	10		
11	第1部	写真	(第1部扉) 第1部タイトル、第1部の説明	1	編集・琉大	11			
12		写真	リード	1	編集	12			
13			リード	1	編集	13			
14		がんと言われたとき	イラスト	あなたは今、がんの治療のどこにいますか	1	増田	14		
15				【専門家からのアドバイス】主治医の説明を聞く	1	増田	15		
16			イラスト	がんになったら大事にしたいこと	1	樋口	16		※リストを減らす?
17				がんになったら大事にしたいこと	1	樋口	17		
18					「私のメモ」	1	琉大・編集	18	
19					がん患者さんの語り～ナラティブ～	1	琉大	19	
20			イラスト	悩みや不安・つらさ(トータルペイン)	2	親川	20		
21				悩みや不安・つらさ(トータルペイン)		親川	21		
22					【専門家からのアドバイス】病名と病期	1	増田	22	
23			イラスト		【体験談コラム】緩和ケア～痛みをやわらげる治療について	1	大久保	23	
24	県内の医療体制		沖縄県内のがん診療連携拠点病院およびがん診療連携支援病院	1	大久保	24			
25			沖縄県内のがん診療連携拠点病院およびがん診療連携支援病院(地図)	1	大久保	25			
26		がん診療を行っている専門医療機関		がん診療を行っている専門医療機関	2	大久保	26		
27			がん診療を行っている専門医療機関	大久保		27			
28	イラスト		地域連携クリティカルパス	1	大久保	28			
29	写真		【専門家からのアドバイス】標準治療と科学的根拠(エビデンス)	1	増田	29			
30	納得して治療を受けたい		インターネットで情報を探す	2	大久保	30			
31		インターネットで情報を探す	大久保		31				
32			セカンドオピニオン	1	大久保	32			
33			セカンドオピニオン実施施設	1	大久保	33			
34			【専門家からのアドバイス】セカンドオピニオンを取ろう	1	増田	34			
35	第2部	写真	(第2部扉) 第2部タイトル、第2部の説明	1	編集・琉大	35			
36		写真	リード	1	編集・琉大	36			
37			リード	1	編集・琉大	37			
38	がんについて相談したい	イラスト	がん相談支援センター	1	島袋	38			
39			がん相談支援センター	1	島袋	39			
40			がん相談支援センター・沖縄県医療安全相談支援センター	1	島袋	40			
41			【体験談コラム】大丈夫！あなたはひとりじゃない！	1	橋本、岸本	41			
42	同じ病気の方の話を聞いてみたい		患者会(沖縄県がん患者会連合会)	8	岸本	42			
43			患者会(沖縄県がん患者会連合会に加盟している患者会12団体)		岸本	43			
44			患者会(沖縄県がん患者会連合会に加盟している患者会12団体)		岸本	44			
45			患者会(その他の患者会2団体)		岸本	45			
46			患者会(院内患者会7団体)		岸本	46			
47			患者支援団体(2団体)		橋本	47			
48			患者サロン(9団体)		橋本	48			
49			患者サロン(9団体)・沖縄県地域統括相談支援センター		橋本	49			

50	療養生活をおくるために	痛さやつらさを和らげたい		緩和ケア外来・緩和ケア病棟(ホスピス)	1	親川	50		
51				緩和ケア外来・緩和ケア病棟(ホスピス)	1	親川	51		
52				がんの終末期を担う医療機関、がん終末期患者の在宅療養の相談	1	親川	52		
53			写真	グリーンケア	1	親川	53		
54		自宅での療養を続けたい		訪問診療、訪問看護	1	富里	54		
55				介護保険	1	富里	55		
56				福祉用具・介護用品の貸与、介護タクシー	1	富里	56		
57			高齢者の相談窓口(地域包括支援センター)、ファミリーサポートセンター	1	富里	57			
58	子どもの療養を支えたい		入院中の教育支援	1	大城	58			
59			入院中の教育支援	1	大城	59			
60			入院中の教育支援、転学、ファミリーハウス	1	大城	60			
61			入院中のきょうだい支援、退院後およびAYA世代に関する相談窓口	1	大城	61			
61			養育支援訪問事業、一時預かり事業、病児・病後時保育事業		大城				
62			【体験談コラム】私を支えてくれたもの	1	橋本、岸本	62			
63	第3部	写真		(第3部扉) 第3部タイトル、第3部の説明	1	編集・琉大	63		
64				リード	1	編集・琉大	64		
65				リード	1	編集・琉大	65		
66		医療費の負担を減らしたい		高額療養費制度	3	西田	66		
67				高額療養費制度		西田	67		
68				高額療養費制度		西田	68		
69				高額療養費限度額適用認定証、標準負担額減額認定証	1	西田	69		
70			写真	高額療養費貸付制度、高額医療・高額介護合算制度、確定申告による医療費等の控除	1	西田	70		
71				確定申告による医療費等の控除	1	西田	71		
72				その他の制度(弾性ストックングなど)	1	西田	72		
73			その他の制度(志村だいき基金、こうのとりのマーリン基金)	1	西田	73			
74		治療を続けながら働きたい		労働問題全般に関する相談	1	大久保	74		
75				働く人の「こころ」と「からだ」の健康相談、生活から就職までの相談、医療機関での就労相談	1	大久保	75		
76				女性の就業相談・仕事と子育ての両立などの相談、働くがん患者の支援団体・冊子	1	大久保	76		
77				【体験談コラム】仕事と、子育てと、がんの治療	1	橋本、岸本	77		
78		あやう支えたい	イラスト	(1)傷病手当金	1	西田	78		
79			写真	(2)ひとり親家庭等医療費助成制度、(3)一部負担金の減免制度	1	西田	79		
80				(4)生活保護、(5)生活福祉資金貸付制度	1	西田	80		
81		知のむりた度けい	写真	がん治療渡航費助成、離島へき地のがん患者・家族の宿泊支援	1	平良	81		
82		障害を受けたい		障害年金、障害手当金(厚生年金)、障害一時金(共済年金)	1	西田	82		
83				身体障害者手帳	1	西田	83		
84				小児慢性特定疾病医療費助成制度、特別児童扶養手当	1	大城	84		
85				障害児福祉手当、その他の制度(基金など)	1	大城	85		
86				その他の制度(基金など)	1	大城	86		
87		問い合わせ一覧	写真	問合せ一覧扉	1	県	87		
88			問い合わせ一覧		役所・役場一覧	1	県	88	
89					役所・役場一覧・社会福祉協議会	1	県	89	
90					年金事務所一覧、各医療保険窓口一覧	1	県	90	
91		税務署一覧、福祉保健所一覧		1	県	91			
92	別刷ハガキ		面談の時の質問集	1	樋口	92			
93			面談の時の質問集	1	樋口	93			
94			面談の時の質問集	1	樋口	94			
95			あとがき(250文字)・編集委員・編集協力	1	琉大	95			
96			編集、奥付	1	編集・琉大	96			
別刷(表)				アンケートはがき、切手(無)、あなたの連絡先を書き留めて～(メモカード)	1	井上	別刷(表)	別刷(表)	
別刷(裏)				アンケートはがき、切手(無)、あなたの連絡先を書き留めて～(メモカード)	1	井上	別刷(裏)	別刷(裏)	
裏表紙1		写真	島野菜	1	編集	裏表紙1	裏表紙1		
裏表紙2		写真	(裏表紙) 問い合わせ先	1	編集	裏表紙2	裏表紙2		
合計ページ				96+ハガキ+表紙+裏表紙	102				

※問い合わせの表記をどうするか？
 <内容について> <送付について>

	イラスト	削	【知って得する基礎知識】制度をうまく活用しましょう	1			
--	------	---	---------------------------	---	--	--	--

平成 28 年度 第 1 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨

日 時：平成 28 年 4 月 7 日（木）14：00～16：30

場 所：琉球大学医学部附属病院 3 階がんセンター

出席者：9 名 樋口美智子（那覇市立病院）、島袋 幸代（沖縄県立中部病院）、宮良久美江（県立八重山病院）、仲宗根るみ（北部地区医師会病院）、西田悠希子（ハートライフ病院）、上原弘美（豊見城中央病院）、高良清健（友愛会ケアプランセンター）、増田昌人、大久保礼子（琉球大学医学部附属病院）、

欠席者：5 名 平良芳子（県立八重山病院）、石嶺彩香（県立南部医療センター・こども医療センター）、佐渡山英子（県立宮古病院）、當銘 由則（沖縄県がん患者会連合会）、松岡栄二（琉球大学医学部附属病院）、

陪席者：2 名 伊良皆香代（県立八重山病院）、井上亜紀（琉球大学医学部附属病院）、

【報告事項】

1. 平成 27 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨

協議に先立ち、資料 1 に基づき、平成 27 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨が承認された。

2. がん患者ゆんたく会について（1～3 月）

資料 2-1, 2-2, 2-3 に基づき、1～3 月に各拠点病院にて開催された「沖縄県がん患者ゆんたく会」について、報告があった。

3. がん相談件数（1～3 月）

資料 3-1, 3-2, 3-3, 3-5 に基づき、増田部会長より、1～3 月の各拠点病院のがん相談件数について、報告があった。島袋副部会長より、中部病院では、ライカムイベントの影響か 2 月の相談件数が多かったとの報告があった。

4. 各部会事業の進捗報告について

(1) 【施策 1 関連】地域の療養情報 2016 年版について

資料 4 に基づき、事務方より、2016 年版が 3 月 31 日に発行され、県より各病院に送付中であるとの報告があった。3 月に県へ提出した配布案で例年との修正点は、各学校への送付数を増やし、患者会連合会の要望により各患者会ではなく連合会への一括送付に変更、県の在庫が約 1,800 冊となったとの報告があった。

(2) 【施策 2】がん相談支援センターの広報について

資料 5 に基づき、事務方より、次年度も、毎月第一(木)に新聞 2 社へ「がん相談支援センター」の広告投稿を続けていくとの報告があった。大久保委員より、平成 28 年度、国立がんセンター主催の広報活動や講演会の協力願いの打診があったとの情報提供があった。

(3) 【施策3】 患者サロンネットワークについて

大久保委員より、3月26日午前中、患者サロンネットワークにて、患者会3団体、拠点病院がん相談員、社労士の総勢15名の参加があり、社労士の院内での就労支援や社労士による取り組みの発表があった。院内のがん相談支援センターの就労支援には、がん相談員と社労士の2名体制で対応するので、患者さんに直（患者会を経由しなくても）で来ていただけること、ひいてはがん相談支援センターをもっと周知する必要があるとの報告があった。

(4) 【施策4】 就労支援関係者意見交換会について

大久保委員より、社労士とがん相談支援センター職員との6名での意見交換会が行われ、まだまだ件数も少なく、患者さん向けの院内がんサロン勉強会も参加者が少なかったので、まずは院内、医療者への酒池が必要との報告があった。平成28年度も、琉大病院は毎月第1,3金曜日、那覇市立病院は第1水曜日に就労相談を行っていることも周知された。

(5) 【施策8】 4/22 医療マネジメント学会、5/19 第7回都道府県相談支援部会について

事務方井上より、4月22日23日開催の医療マネジメント学会に、小児がんマニュアル配布後のアンケート調査の学会発表を行うとの周知があった。大久保委員より、5月19日に、第7回都道府県相談支援部会へ参加することも周知された。

5. その他

(1) がんサポートブック視察・検討会議について

資料6に基づき、大久保委員より、平成28年度の作成については不明瞭だが、今後の追加内容として、仕事復帰と社会参加の観点から、アピアランスの部分（ウィッグ、外見ケア）を検討するために、小栗がん研究センターアピアランス支援センター、資生堂ライフクオリティービューティーセンターを視察した。アピアランス支援センターでは年間約900件の相談を受けており、社会復帰をする時のコミュニケーション方法を一緒に考える方策、資生堂ライフクオリティービューティーセンターでは傷を隠すメイク技術・家族のイベントのためにきれいになるノウハウなど、とても勉強になったとの報告があった。

増田部会長より、がん相談には、これらの双方からのアプローチが必要であるとの意見があった。

【協議事項】

1. 平成28年度九州・沖縄ブロック地域相談支援フォーラム in 沖縄

資料7に基づき、増田部会長より、4月5日に第1回実行委員会が行われ、資料7-3の2月11日の開催予定を含む開催概要、資料7-4の実行委員、資料7-2の活動計画案の協議が行われ、予算は各拠点病院の強化予算を用いる、主催は相談支援部会、共催を協議会とすることなどが決定したとの報告があった。6月の第2回会議でテーマを決めるが、6か月後1年後の参加者の行動変容が起こるようなテーマを検討するとの報告があった。上原委員より、フォーラムのテーマの中に、患者会と共同して出来るテーマを検討してほしいとの意見があった。

2. 平成28年度の部会事業の行動計画・予算について

資料 8-1, 8-2 に基づき、大久保委員より、前回部会に【施策 2】がん相談支援センターのチラシの修正、【施策 4】就労相談に関する院内勉強会を開催する、【施策 7】がん相談員実務者研修会（年 3 回開催）を、九州・沖縄ブロック地域相談支援フォーラムとすることが承認された。

3. 平成 28 年度の部会委員, 部会長の選定、及び部会の開催時期について

資料 9 に基づき、大久保委員より、今年度の部会計画は、九州フォーラムが主となるため、拠点病院の部会委員が主体で活動することになることから、平成 28 年度の部会委員は 6 拠点病院のみとし、がんサポートハンドブック WG、九州フォーラム実行委員を、それぞれに分けて集まることが協議の上、承認された。

4. その他

(1) 次回、平成 28 年度第 2 回相談支援部会開催日について

第 1 候補日： 平成 28 年 8 月 25 日

第 2 候補日： 平成 28 年 月 日

(2) 九州・沖縄ブロック地域相談支援フォーラム in OKINAWA の実行委員会の開催日について

第 2 回 : 平成 28 年 6 月 7 日

(開催日 = 偶数月の 第 1 火曜日?)